

## ニッセンケン分室「思いつきラボ」No. 8 絞り染めを体験してみよう・・・



新年あけまして・・・というには小正月（正月 15 日）では遅すぎますが 本年もよろしくお願ひ致します。正月を過ぎるとやっと正月気分になって（遅い!!）昔ながらの伝統のありがたみを感じます。2014 年最初のコラムですのでちょっと和風的なものにしてみました。しかも製品染めの体験報告となります。

日本の染め技法に絞（しぼ）り染めという手法があります。京鹿の子（きょうかのこ）という柄が有名ですが 昔からこの地域でも使われてた技法なのです。生地の一部を紐などで縛って その部分は染まらないようにするもので絞ることによって圧をかけて染料液が入り込まないようにしているのです。

### 染め技法 絞り染め

京鹿の子みたいな難易度の高いことができるようになるには 修練が必要となりますが簡単なものであれば誰にでも絞り染めで商品をつくることはできるのです。ということで興味を持ってくれた仲間オリジナルT-シャツを作ってみることにしました。なぜオリジナルで作るかといいますと 市販されている白いT-シャツは蛍光晒（けいこうざらし）をしているものが多く製品染めには適さないものが多いのです。蛍光剤は撥水系のものが多く 先に蛍光剤が使われると染料が馴染みにくいのです。

製品染め用の生地もテキスタイル段階では用意されているのですが 製品段階で後染め用のものはなかなか一般の販売ではありません。P下晒（ぴーしたざらし）と呼ばれるプリント用の生地も同様でプリントをする時に蛍光剤は邪魔になるので 無蛍光晒の生地を使います。話が逸（そ）れてしまって染の説明がなぜか生地の話になってしまいました。

という理由でT-シャツを作ることになったのですが ニッセンケンには型紙を引くパタンナーが居て なぜかパターン CAD(キヤド)もあるのでオリジナルを作ることにしました。Vネック ロングスリーブのシャツにして 製品染めは染色後かなり収縮するのでゆったりめのサイズで作ってみました。本来は縫い糸も綿糸にすれば縫い糸部分も染まるのですが ミシン調子を合わせるのが面倒なので縫い糸はウーリー糸を使用することにしました。また話が逸れて縫製の話になってしまいました。



話がどんどん染めの話から別の方へ行ってしまうので とにかく作ってみることにします。今回はボーダー柄の絞り染めにトライしてもらいます。

## いざ 絞り染めを体験

## 用意するもの

- ・染料 (市販されている綿用の染料を使います)
- ・ボール (染料を溶かすのに使用します)
- ・バケツ (熱湯に染料をいれて製品を浸します)
- ・たこ紐 (初心者は太めのたこ紐が使いやすい)
- ・食塩 (染色の固着剤として使います)
- ・Tシャツ (綿染めにしますので綿 100%を使います)
- ・割り箸 (バケツの商品を混ぜるためのもの)
- ・ゴム手袋 (染料が手につくととれにくいので)
- ・その他 (やる気と注意力と人の話をよく聞くこと)

などなど



絞り染めの手順は以下の通りです。

## ① Tシャツを用意

② デザインを決めて  
たこ紐で染めない部分を  
紐で縛る③ Tシャツを水に  
浸す 紐が収縮し  
てさらに縛ったと  
ころがきつくなり染  
料を吸収しにくくな  
る④ ボールに熱湯を  
少量入れて染料と  
固着用の塩を少し  
づつ溶かしながら  
混ぜる⑧ バケツから取り  
出して水でよく洗  
う 繰り返し洗う  
方が堅牢度はよく  
なる⑦ 時間が経ってから染ま  
り具合を確認する⑥ 混ぜ棒で均一  
に染まるように根  
気よく混ぜる⑤ バケツにお湯を  
満たし T-シャツ  
を入れボールの  
染料液を入れる



⑨取り出したら縛ってある紐を外す 絞っていたところは染まらずに白で残り 白と染めた色のボーダーが出来上がる



⑩取り出して天日で乾かす



⑪二色以上で染めたい場合は手順を繰り返す この場合はすでに染まったところをタコ紐で縛る



⑫取り出して天日で乾かして完成する

写真 1



自分でつくってみることで確かに絞ったところは染まらないことが確認できました。ついでに生地を染めるという過程を知ることができたうえに自分だけのオリジナル一点ものを作ることができました。今回は1色染ではなく2色染に挑(いど)んでもらったので レベルの高い物づくりの楽しさも経験できてなかなか実のある自由研究になりました。

ちなみに 写真 1 写真 2 写真 3 の作品は誰のものか分かりますか？  
正解は 1月30日掲載の思いつきラボ第九回でご紹介します。

写真 2



写真 3



## 目指せ染職人

みんな良いセンスをしているうえに 個性も出て素晴らしい出来栄になりました。それほど大袈裟な準備も必要ありませんので手軽にできますし 作っているうちに別の配色やデザインも浮かんで来たりします。ここまでくれば“目指せ染職人”といった感じになります。後日 感想を聞いたところ「終わったあとに連れて行ってもらった店の料理がとても美味しかったです」だと・・・えっ そこ～!!

原稿担当

竹中 直(チヨク)

自由研究協力者

立石ラボ

住山 久明

大阪事業所

志田 恵子

大阪事業所

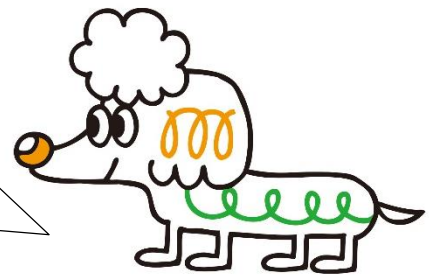
松田 道恵

難波支所

桑田 祐子

ニッセンケンに新しくエコテックスの宣伝マン「エコダックス」が誕生しました！

ぼくの名前はエコダックス。  
ホームページや蔵前の  
ニッセンケンビルに居るので是非  
会いにきてくださいね。コラムにも  
遊びに来ます！  
よろしくおねがいします！



**OEKO-DACHS**